



充填と同時に通気層を確保できる、独自のフォーム。

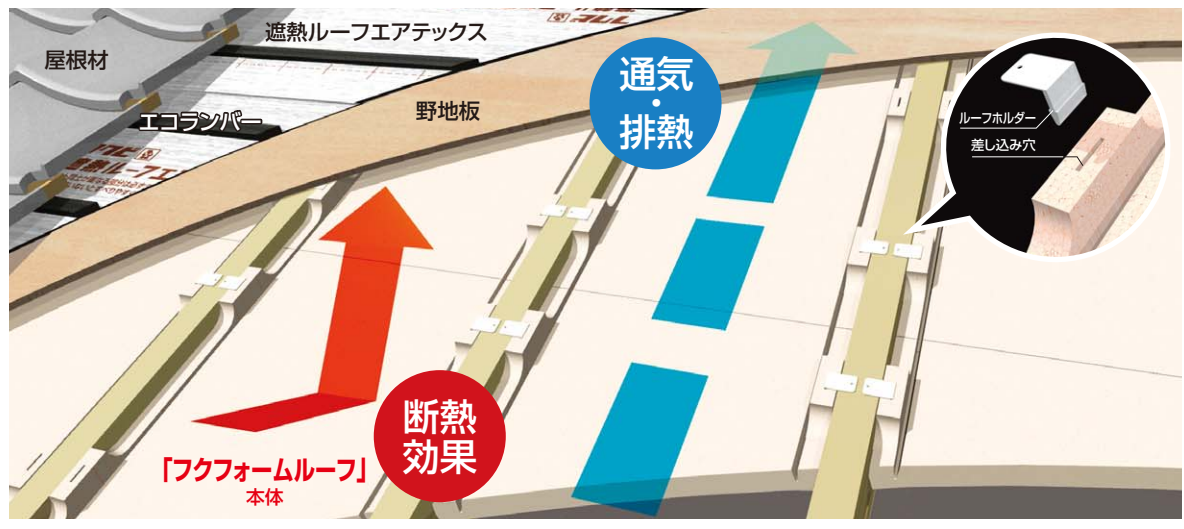
- スリットの絶妙なアジャスト効果で隙間なくピッタリ納まります。
- 合いじゃくりのジョイントが製品同士を密着させます。
- 1つの型で、「43~45mm巾の垂木間」と「38mm巾の垂木間」にカットなしで対応できます。
 - フクフォームの材料は、すべて「ビーズ法ポリスチレンフォーム」を使用しています。(住宅金融支援機構の断熱材の種類ではCグループに属します。)
 - 優れた撥水性が内部結露を防ぎ、断熱効果を持続させます。 ●製造上、フロンガスは使用していません。
 - フクフォームは、炎を遠ざけると自然に消える素材を使用しています。(JIS A9521 適合)
 - 昭和51年建設省告示第1231号第4に規定するガス有毒性試験に合格しています。

断熱材

屋根用断熱材

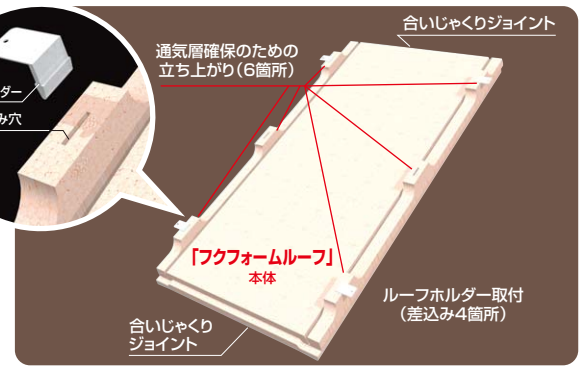
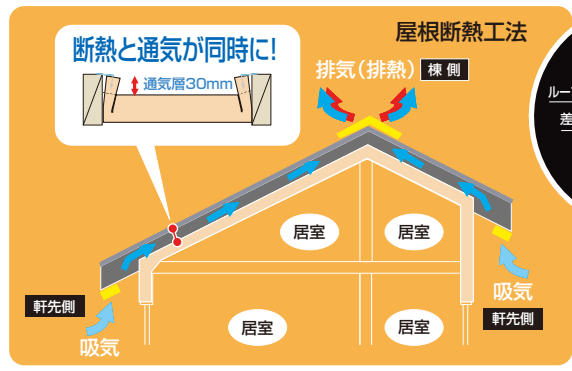
フクフォームルーフ®

耐震制震 床基礎の気密断熱 遮熱透湿防水 開口住設備 換気システム 換気器材 スパンドレル 浴室水廻り 点検口枠 吊下地材 内装建材 養生保安 外装建材 左官資材 乾式二重床 システム昇 床仕上げ材 その他



充填と同時に通気層確保
●垂木間に充填すると同時に、屋根断熱に必要な通気層(30mm)を確保できます。

従来の「支持材を垂木に取り付ける方法」と違い、「本体に取り付ける方法」で施工がさらに安全・容易に!



フクフォームルーフ 各地域の左欄は必要な熱抵抗値(m²・K/W)、右欄はフクフォームルーフの種類です。

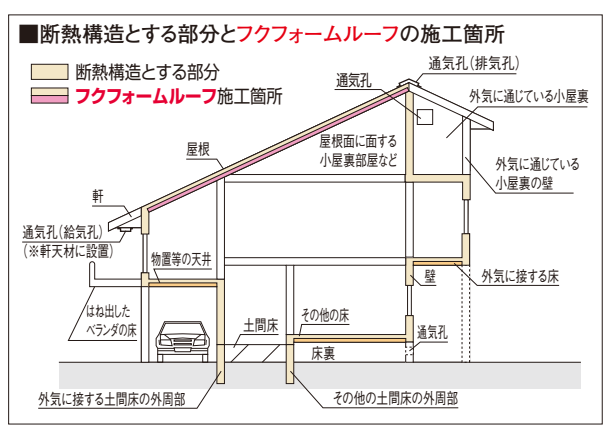
在来軸組工法及び枠組壁工法(充填断熱)

省エネルギー告示名称	住宅金融支援機構の「フラット35」における断熱構造基準	性能表示基準	部位	断熱性能[m ² ・K/W]									
				平成28年基準 平成11年基準 熱抵抗値	1・2地域 I地域 フクフォームルーフ	平成28年基準 平成11年基準 熱抵抗値	3地域 II地域 フクフォームルーフ	平成28年基準 平成11年基準 熱抵抗値	4地域 III地域 フクフォームルーフ	平成28年基準 平成11年基準 熱抵抗値	5・6地域 IV地域 フクフォームルーフ	平成28年基準 平成11年基準 熱抵抗値	7地域 V地域 フクフォームルーフ
昭和55年告示(旧省工不基準)	フラット35	等級2	屋根または天井	大壁造 2.7 真壁造(天井) 3.1	—	1.2	1245型 1545型	1.2	1245型 1545型	0.8	0845型	0.5	0845型
平成4年告示(新省工不基準)	フラット35	等級3	屋根または天井	4.3	—	1.7	1845型	1.2	1245型 1545型	1.2	1245型 1545型	1.2	1245型 1545型
平成11年告示 平成28年告示	フラット35S	等級4	屋根 天井	6.6 5.7	—	4.6 4.0	— —	4.6 4.0	— —	4.6 4.0	— —	4.6 4.0	— —

地域区分

平成28年基準	平成11年基準	地域	対応地域
1・2地域	I地域	北海道	1・2地域 I地域
3地域	II地域	青森県 岩手県 秋田県	3地域 II地域
4地域	III地域	宮城県 山形県 福島県 栃木県 新潟県 長野県	4地域 III地域
5・6地域	IV地域	茨城県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県	5・6地域 IV地域
7地域	V地域	宮崎県 鹿児島県	7地域 V地域

地域区分は市町村レベル
※詳細は住宅金融支援機構監修の「木造住宅工事仕様書」をご参照ください。



温熱環境
住宅性能表示制度

材質
EPS

ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材4号相当 (JIS A 9521)

住宅金融支援機構記号別断熱材の種類ではフクフォームは、Cグループ「ビーズ法ポリスチレンフォーム」です。

施工説明書